



ニュースリリース

佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事の竣工 ～ シャフト炉式ガス化溶融で国内 39 件目 ～

新日鉄住金エンジニアリング株式会社（代表取締役社長：藤原 真一、本社：東京都品川区、以下「当社」）は、佐賀県西部広域環境組合（管理者：塚部 芳和、所在地：佐賀県伊万里市、以下「本組合」）から受注した「佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設（以下「本施設」）建設工事」を竣工いたしました。2015年12月25日に本組合主催の「竣工式」が開催され、2016年1月より本施設の運営業務が開始されています。

本施設は、佐賀県西部ブロックの4市5町（伊万里市、武雄市、鹿島市、嬉野市、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町）から排出される一般廃棄物を処理するもので、当社シャフト炉式ガス化溶融施設の下記3つの特長と、これまでに当社が納入した施設の安定稼働実績が評価され、受注・施工に至りました。今後の佐賀県西部地域における「環境・循環型社会実現」の大きな柱となることが期待されています。

《3つの特徴》

- ①ダイオキシンなどに対する「万全な公害防止対策」
- ②ごみを1,800度の高温で溶かして処理し、生成するスラグを土木建設資材として有効活用する事による「埋立処分量の最小化」
- ③「ごみ処理の過程で発生する余熱を利用したごみ発電」

本施設の竣工で、当社シャフト炉式ガス化溶融施設の納入実績は全国で39件（九州地区で6件）となります。

当社は、国内で最大シェアを持つシャフト炉式ガス化溶融施設に加え、ドイツ SBE 社から技術導入したストーカ炉も昨年より営業開始しており、今後も循環型社会の構築に向けて様々なニーズに合わせたご提案をいたします。

【本工事の概要】

- 工事名：佐賀県西部広域環境組合ごみ処理施設建設工事
- 工事場所：佐賀県伊万里市松浦町地内
- 工事期間：2012年10月29日～2015年12月28日
- 施設内容：①エネルギー回収推進施設〔ジョイントベンチャー方式にて当社が施工を担当〕
 - ◆処理方式：シャフト炉式ガス化溶融方式 ◆処理能力：205t/24h（102.5t/24h×2系列）
- ②マテリアルリサイクル推進施設（粗大ごみ処理施設）
 - ◆処理方式：破碎・選別 ◆処理能力：22t/5h



【施設の外観】

【お問い合わせ先】

CSR・広報部 広報室 03-6665-2366

URL <https://www.eng.nssmc.com/ask/> 以上